

## 学生と拡げる サイエンスコミュニケーション

### JASC若手の会

黒木彩香、鈴木美慧  
綾塚達郎、小幡哲士

## JASC若手の会とは

- 構成  
日本サイエンスコミュニケーション協会（JASC）の学生\*正会員で構成。  
現在10名（学部生4名、院生6名）
- ミッション  
若手の立場からサイエンスコミュニケーション（以下SC）をどうしていけるのか考える。

\*本発表では、「学生」は高校生、大学生、大学院生を含むこととする。

### \*ミーティング風景（2/9日本橋）

→コモンズに投稿済



## 「学生とみなさんで」拡げるサイエンスコミュニケーション

- 学生と一緒にSC活動を発展させていくのは、社会を変える一つの手段となりうる。

→（今日の議題）

学生と協力・共存した社会の変え方を皆さんと考えていきたい。

## 学生によるSC活動の現状

- インターンシップやボランティア参加。
- 学生団体としての活動。
  - 実験教室、カフェ企画（教職も含める）
  - 理系学園祭、オープンキャンパス企画の運営・参加
  - ネットワークづくり
  - 情報の発信
  - 社会論議論・研究

## 学生団体の課題と解決例 [目次]

### 《課題》

1. 自主企画における活動の場と機会
2. 教育的正しさの追求
3. 持続性の課題

→皆さんと解決していく解決例をそれぞれについて挙げる

## イベント企画

### ● 実験教室イベント

幅はあるが、主に子供向け。全国に30団体程度はある。



東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST (2009年設立)



東京工業大学 Science Techno (2001年未来館プレイベント後に設立・大学公認サークル)

東海大学SSE, お茶の水女子大学環境科学倶楽部, TMU-SFC, 東京理科大学Create, 立命館大学ライフサイエンス研究会 and so on...

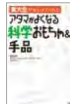
## 活動の場、機会

(形式も、ショー、教室、WS、ブースなど様々)

### ● 学生は融通が効く。<フットワーク>

#### \* 東大CAST (活動: 学生約50名)

- 2012年度年間100超イベントで企画・出展。
- 実験本出版、実験キット開発も行う。
- 昨年11月学園祭の科学館企画では約9000人来場。



## 活動の場、機会 《課題》

### ● 自主企画

→ 企画・運営の困難

(例) 企画を考えても

- ・ お金がない...
- ・ 実演する場所がない...
- ・ お客さんが集まらない...

→ 企画できない orz...



## 企業連携

- 科学のおもしろバス教室 2011年2月 (はとバスと東大CASTの協力企画)



## 大学からの支援

### ● 大学のプロジェクト (学生主体)



東海大学チャレンジセンターサイエンスコミュニケーター (実験・カフェ・フリーペーパー)



埼玉工業大学 集まれ! 科学実験教室プロジェクト (がんばる! 学生プロジェクト)



東京理科大学サイエンスフェア学生企画 みらい研究室 ~ 科学へのトビラ ~ (日本科学未来館、毎年6月土日)

## コミュニケーターの立場から

- コミュニケーターが立ち上げの後押しをしていることが多い。(敬称略)
  - 東大CAST ~ 滝川洋二 (東海大、NPO法人ガリレオ工務理事長)、林衛 (富山大、科学ジャーナリズム研究)
  - 東工大ScienceTechno ~ 市村禎二郎 (東工大名誉教授)
  - 筑波大学SCOUT ~ 尾嶋好美 (筑波大)、Matt Wood (筑波大)
  - 0 to 1 ~ 横山広美 (東大理学部広報室)
- 大学の前例プロジェクトを学生プロジェクトとして始める形
  - 埼玉工業大学、みらい研究室

→ コミュニケーターの後押しで学生に火をつけられる。

### 科学遊びラボ

- 子どもへの教育、学生へのSC学習  
→WIN-WINの活動
- 子供にとって比較的年齢の近い学生は、親しみを感じやすい (参加保護者の方から意見多数)



### 教育的正しさの追及《課題》

- 教育について学んでいない学生が行う科学「遊び」にどこまで教育的正しさがあるのか

(例)

- ・僕たちの活動はどこまで効果がある?
- ・遊んでいるだけ?

→活動の意味

...?



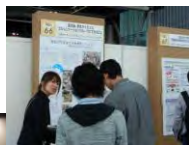
### 活動情報、意見交換

- 研修会や研究会、サイエンスアゴラにおける発表・参加



\*2月SCL-Net研修会 (ガリレオ工房)

大人の理科教育ボランティア8団体のほか、サイエンスリンク関係の6つの学生団体も参加



サイエンスアゴラでの発表 (CAST, SCOUT, etc...)

- アドバイザーとしてコメント

### 理系学園祭、オープンキャンパス企画への運営・参加

- 理工展(早稲田大)、理大祭(東京理科大学)など、学生主体の理工学系の学園祭を開催。

- 工学院大学わくわくサイエンス祭などの科学イベントや、理工系のオープンキャンパス大学によるイベントへ、学生が出展。

→大学周りの地域を巻き込み、実施することができる。

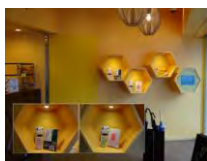


### 地域密着の活動

- 柏の葉サイエンスエデュケーションラボKSEL 「科学コミュニケーションを通じた地域活性化」  
→地域に密着した交流イベントを、市民にとって比較的視線が近く接しやすい大学院生が行う。

\*交流を通して、地域の団体と協力運営。

\*地域に「科学」という文化を継承させていく



### 持続性の課題《課題》

- ・学生は比較的短いスパンで入れ替わる
- ・引継ぎシステムの確立が難しい

(例)

- ・活動的な先輩がいなくなった...
- ・後輩がいない...

→活動できない

ORZ...



## 地域ぐるみの継続

- 学生は比較的短いスパンで入れ替わる  
→持続していくためには、
- 1. 地域ぐるみ、大学ぐるみで科学的活動が冷めないようにしていく。



## 学生団体同士の情報共有

- 学生は比較的短いスパンで入れ替わる  
→持続していくためには、
- 2. 学生団体同士で情報を共有し、協力し合う。

大学生や大学院生が行う  
サイエンスコミュニケーション「四季報」  
(活動紹介をメインとした団体情報共有)



## つながりづくり

- 学生向け理系情報ポータルサイトリけたす
  - 理系飲み、理系cafe
- 理系女子大生コミュニティ～凜～
- 医療系学生サークルMEDICUS

←学生はつながりやすい。  
(→SC活動を学生から拡げていける)

## 学生から拡げる活動①

### サイエンスリンク



- 学生団体を集めて開催する、子供向け体験型科学イベント  
(2012年8月16日日本科学未来館で第1回実施。来場約2000人、出展大学生9団体約150人。第2回は2団体を新たに入れ替え、3月29,30日に東芝科学館で行う。)
- 全国の大学生団体、高校生のクラブをつなげていき、より良い科学の伝え方について考える。

## 学生から拡げる活動①

### サイエンスリンク



- 学生団体を集めて開催する、子供向け体験型科学イベント
  - 2012年8月16日日本科学未来館で第1回実施。出展大学生は9団体約150人。(来場約2000人)
  - 第2回は2団体を新たに入れ替え、2013年3月29,30日に東芝科学館で実施される。
  - 第3回(2013年8月17,18日)では、高校生団体や関西地域の団体を含め約20団体と協力して実施される予定



## サイエンスリンクのねらい

- 全国の大学生団体、高校生のクラブをつなげていき、より良い科学の伝え方について考える。また、参加団体を拠点にSC活動を拡げていく。
- 学生の団体と皆さんをつなぐネットワークシステムとなる。
- 全国の大学や高校の地域で活発なSC活動が展開される。

## 学生から拡げる活動②

### 若手の会のできること

- 学生のフットワークの軽さを活かして、SC活動を拡げていく。
  - 合宿形式（夏の学校形式）でSCに興味のある学生を集めて、拡げ方を話し合う。
  - 地域でのニーズを垣根を越えて理解できる存在（現地に行って聞いてみる
  - 現地の学生を巻き込む

☆これぼりゅーしょん☆

### JASCの皆さんとできること

- 若手の会、サイエンスリンクで学生のネットワークを拡げていく。
  - 皆さんのネットワークと合わせて情報の共有を行い、盛り上げていく。
  - 学生と一緒にSC活動を発展させていくのは、社会を変える一つの手段となりうる。

### 学生団体の課題と解決例 [まとめ]

1. 自主企画における活動の場と機会
  - 企業連携・大学のプロジェクト  
コミュニケーターの後押し
2. 教育的正しさの追求
  - 活動情報、意見交換
3. 持続性の課題
  - 地域ぐるみ、大学ぐるみの継続
  - 学生の情報共有、ネットワーク
    - 皆さんのネットワークとつなげる

### 「学生とみなさんで」拡げるサイエンスコミュニケーション

- 学生と一緒にSC活動を発展させていくのは、社会を変える一つの手段となりうる。
  - （今日の議題）  
学生と協力・共存した社会の変え方を皆さんと考えていきたい。

### (例)コミュニケーターとの共同

- 養成講座やインターンシップを通じたSC養成
    - 科学館、大学の講座
    - 理系企業インターンシップ
- もっと学生SC団体と連携してもいいのでは？
- ・学生団体へのメリット説明など。  
(学生団体には興味のある学生が集まっているため)
  - ・認定コミュニケーターとの実践コラボレーション